平成26年度共同募金による平成27年度助成事業

申請書記入のポイント

①まず団体内で申請内容についてよく話し合いましょう。

　　会長さんが一人で申請をして、他の役員さんが知らない状況では事業が進みませんのでみなさんで話し合いをお願いします。

②目的を明確にさせるようお願いします。

　　書類審査になります。事業の目的が分かることが大事です。

③「被災した地域社会の復興に向けた活動」及び「被災した子育て世帯を支援する活動」等と備え（備品購入等）中心の防災等事業、通常の地域の活動を区別して申請するようお願います。

　　 様式１－３の申請事業名記入欄にその事業の内容を区分する欄が新設されました。該当する箇所に1か所チェックを入れてください。複数にチェックをいれるのは不可。その内容を様式１－４の中で表現してください。「被災した～活動」と備え中心の事業をはっきり分けていただきます。

④防災を主目的とした備え中心の事業の場合は、③とは異なりますので明確にするようお願います。

申請様式１－３申請事業名の該当する箇所にチェックを入れてください。複数不可。

⑤　③、④とも異なる通常の地域の活動の場合は③④と混同しないように明確にするようお願います。

申請様式１－３申請事業名の該当する箇所にチェックを入れてください。複数不可。

⑥事業年間スケジュールは必ず記入するようお願いします。

来年度の事業のことですから、今はっきりしていなくてもだいたいの予定を書いてください。事業がどのように行われるのかのイメージが伝わります。

⑦予算もできるだけ具体的に記入するようお願いします。

　　自己資金が経費の総額の1割以上になるよう積算してください。支出の内訳は見積りなどを取ってなるべく実際の事業に近くなるように。

⑧添付書類も忘れずにお願いします。

　　特に見積書は業者名で発行されたものをつけてください。

⑨指定のテント・発電機購入を希望する場合は見積書は不要です。

　指定のテント・発電機であれば、宮城県共同募金会でまとめて購入しますので見積りはいりません。（別紙の資料を参照）

⑩事業終了後に報告書を出してもらいます。

　　支払の領収書等は失くさないようにしてください。

|  |
| --- |
| **×　助成対象にならない経費** |
| ・内部講師謝礼(グループ、団体の会員が講師となる場合の謝礼) |
| ・人件費及び費用弁償費 |
| ・通常の団体運営に関する経費 |
| ・スタッフの打ち合わせ会、反省会等の飲食代 |
| ・ボランティアの飲食代(お茶代は可)、当日以外の飲食代 |
| ・イベント等の豪華な景品や高価な参加賞（金券や商品券など） |

【様式１－１】≪住みよい地域づくり支援事業≫

≪子育て相談等支援事業≫　記入例

事務局欄　　　　　　　－

26年　　11月　　4日

社会福祉法人宮城県共同募金会　会長　殿

（モデル配分事業委託者）

仙台市共同募金委員会　会長　殿　(申請書提出先)

ポイント①

（モデル配分事業受託者）

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）  団体の名称 | アカイハネチョウナイカイ  赤い羽根町内会 |
| （フリガナ）  代表者職名と氏名 | 会長 |
| 所　在　地 | （〒980-0022　）　TEL　022-223-2026  仙台市青葉区五橋2-12-2仙台市福祉プラザ6Ｆ |

**平成２６年度共同募金（平成２７年度事業）**

**助 成 金 （配分金） の 申 請 に つ い て**

　このことについて、仙台市共同募金委員会の住みよい地域づくり支援事業及び子育て支援事業配分要綱第５条により、下記のとおり申請を行いますのでよろしくお願いします。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助成金事業名 | | 被災により新しく住民になられた方々との  交流サロン事業  ※事業内容が一定程度イメージできる名称にしてください。  ※２５字程度におさめてください。 |
| 事 業 区 分 | | **☑**住みよい地域づくり支援事業  □子育て支援事業　　□子育て相談等支援事業  　　　　　　　　　　□認可外保育所整備事業  　※該当する事業の□にレ点を入れてください。 |
| 事業費総額 | | 278,000円 |
| 資金内訳 | 助成金の額 | 250,000円  ポイント⑧ |
| 自己資金 | 28,000円 |

　≪添付提出書類≫ ※□にチェックを入れてください

１．団体定款・規約・会則等　**☑**

２．平成25年度事業報告書　 **☑**

３．平成25年度決算書　　　 **☑**

４．平成26年度事業計画書　 **☑**

５．平成26年度予算書　　　 　　**☑**

６．役員名簿（スタッフ名簿）　　**☑**

７．見積書（備品購入及び修繕等の場合）　　　**☑**

８．現状の写真（備品買換え及び修繕等の場合）□

９．その他書類(　　　　　　　　　　　　　　)□

≪過去共同募金助成実績≫今までに受けた助成をお書きください。

平成　２６　　年度　２５０，０００　円　(事業名)　被災により新しく住民になられた方々との交流サロン

平成　　　　　年度　　　　　　　　　円　(事業名)

平成26年度共同募金(平成27年度事業)

【様式１－２】

住みよい地域づくり・子育て相談等 支援事業助成共通申請書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **団体について** | フリガナ  団　体　名 | |  | | | | | | 会員数  （町内会の場合は世帯数） | | 300人 | |
| フリガナ  代表者名 |  | | | | | 団体設立 | | | 昭和45年　　　　5月 | | |
| 法人格取得 | | | 年　　　　　月 | | |
| 団体所在地　〔　□事務所　　**☑**代表者自宅　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　）〕  〒980-0022  仙台市青葉区五橋２－１２－２　仙台市福祉プラザ6階 | | | | | | | | | | | |
| 電　話 | 022-223-2026 | | | | | FAX | 022-262-1948 | | | | |
| E－mail | tiiki@shakyo-sendai.or.jp | | | | | | | | | | |
| ホームページ | なし | | | | | | | | | | |
| **連絡担当者について** | フリガナ  連絡担当者名 |  | | | | | 役　職 | 会計 | | | | |
| 連絡担当者住所（団体所在地と住所・電話・E－mailが同じ場合は「同上」とご記入ください）  〒980-0022  　仙台市青葉区五橋2-12-2　仙台市福祉プラザ4階 | | | | | | | | | | | |
| 電　話 | 022-223-2010 | | | | | FAX | 022-223-2010 | | | | |
| E－mail |  | | | | | | | | | | |
| ※すべての文書の希望送付先の□にレ印をつけてください。  　　□　団体代表者　　　**☑**　連絡担当者 | | | | | | | | | | | | |
|  | 設立経緯〔簡潔にご記入願います〕  　昭和44年に宅地造成され、昭和45年に住民の自治会として設立した。 | | | | | | | | | | | |
| 団体の目的〔簡潔にご記入願います〕  　地域住民の親睦を図り、良好な地域社会の維持・形成に努め、住みよい地域づくりを推進することを目的とする。 | | | | | | | | | | | |
| 団体の事業概要・活動内容〔メニューを簡潔にご記入願います〕  　区域内の環境美化、集会施設等の資産の維持管理、福利・厚生、防火・防災・防犯・交通安全、文化・体育・レクリエーション、その他 | | | | | | | | | | | |
| 会報誌の発行及びﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ・ﾒｰﾙﾏｶﾞｼﾞﾝなどの開設  （有・無いずれかに○） | | | 有 | 名称（　赤い羽根町内会だより　）  URL（　なし　）  発行回数（年間　6回） | | | | | | | 無 |
| 赤い羽根共同募金運動への参加状況 | | | 地区社協・町内会 | | **☑**戸別募金　　□一括募金　　□法人募金  □街頭募金　　□その他（　　　　　　　　　　　　） | | | | | | |
| ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動団体/NPO　他団体 | | □職域募金　　□街頭募金  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | | |

ポイント③④⑤

申請事業内容

【様式１－３】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **申**  **請**  **事**  **業**  **に**  **つ**  **い**  **て** | 申請事業名  （活動名） | 被災により新しく住民になられた方々との交流サロン事業  該当するものいずれかにレ印をつけてください〕  **☑**「被災した地域社会の復興に向けた事業」、「被災した子育て世帯を支援する事業」に該当する  □ 防災を主目的とした備え(備品購入等)中心の事業である。　　□その他の事業 | | | | | | |
| 主な活動場所  （設置場所） | 〒980-0022  仙台市青葉区五橋2-12-2  仙台市五橋集会所 | | | 連絡先 | | 電話223-2026 | |
| FAX 262-1948 | |
| 事業開始又は  実施年月日 | 平成27年4月1日 | | 完了年月日 | 平成28年3月31日 | | | |
| 対象者〔該当するものにレ印をつけてください。複数回答可〕  　□高齢者□障がい者□児童□子育て家庭　☑その他（赤い羽根町内会区域にお住まいの方）  ※条件がある場合はご記入願います。〔例「65歳以上の高齢者」「未就学児童」など〕  〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕 | | | | | | | |
| 対象人数  （町内会の場合は世帯数） | | 300世帯 | | | スタッフ数 | | 30人 |
| 対象地域 | | 赤い羽根町内会区域 | | | | | |
| 活動日・時間 | | サロン：およそ年に４回（１１：００〜１４：００）  準備会議：１ヶ月に２回くらい  （１３：３０～１５：３０又は１９：００〜２１：００） | | | | | |
| この事業の期間 | | 〔該当するものにレ印をつけてください。〕  □単年度で終わる事業 　　　　　☑複数年に渡る事業（2年間）  （理由：自然な形で住民同士が馴染むまである程度の期間を要するため。） | | | | | |
| この事業についての他の申請中の助成金 | | 名称：    助成申請額　　　　　　　　円 | | | | | |
| 共同募金の助成事業を何で知りましたか？ | | 〔該当するものにレ印をつけてください。〕  □各区社会福祉協議会　**☑**地区募金会　□地区社会福祉協議会　□各区役所  □市民センター・公共施設　□仙台市社会福祉協議会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |
| 自己資金に  ついて | | H25年度決算時の繰越金額　　　　２00,000　　円  ●自己資金で申請事業の経費全てを賄えない理由  　　　会費徴収を４月末予定しているが、運営経費として  最低限必要の繰越金を確保するため、この事業には使えない。 | | | | | |  |

※申請事業名（活動名）は、様式１－1の申請事業名と同一にしてください

|  |  |
| --- | --- |
|  | ◆「被災した地域社会の復興に向けた事業」または、「被災した子育て世帯を支援する事業」の場合、復興させたい事柄または、支援したい子育て世帯の状況について詳しくご記入ください |
| 赤い羽根町内会のある五橋２丁目は、地区社協からの情報提供によるとアパート等の借上げ  民間賃貸住宅が多い地域である。東日本大震災の津波被害や地震被害、原子力災害など様々な理由で自宅を離れ、慣れない土地で暮らすことは苦労も多く昨年度助成金を受け試行錯誤の中、同事業を行った。しかし未だに孤立している住民もいることもわかり、更なるアプローチが必要である。また、サロンを定着させるためにもスタッフの強化が必要であると考える。 |
| ◆必要性・地域貢献性について  ポイント② |
| **①地域の課題などから助成申請に至った経緯（なぜ今必要なのか）**  **②この事業（活動）の目的・内容 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③期待される効果（どのように地域に役立つのか）**についてご記入ください。  ①上記の状況に加えて、高齢者や小さなお子さんを抱えた一人親世帯の住民など見守り等の支援が必要な世帯が存在することも想像されるため、町内会としてサロンを計画した。  ②サロンに集まり季節行事を楽しむことで、身近に知っている人がいる、立ち話できる人がいる、相談できる人がいると、という状況を作り住民同士のつながりを広げていく。交流を切らさずに顔なじみの関係を作ることで地域の支えあいの関係を築くことを目的とする。自宅と会場間の送迎をおこなうことで、閉じこもりがちな足腰の弱い高齢者にもサロンへの参加を容易にします。  ③新たに住まわれた住民の孤独感を解消し、今の生活に適応しようとする元気が出る効果が期待できる。全体の住民同士の輪を広げ個人的に困った状況や災害が起こった際にも支え合える町内会を作っていく。 |
| ◆発展性について |
| **どのような活動にしていきたいのか、申請事業の２～３年後の展望**についてご記入ください。  初年度…まずはサロンという場を定着させる。地区社協や民生委員、体育振興会の協力を得て  人材、アイディアを提供してもった。  2年目…地域の男性ボランティアグループオヤジの会や中学校、子ども会にも呼びかけて  協力してもらい、一般住民からもスタッフになってもらいサロンを継続できる体制を作る。 |
| **◆事業の必要性や成果の公表方法**をご記入ください |
| ①誰に伝えますか（該当する全てのものに☑をつけてください |
| □一般市民　**☑**地域住民　☑会員　□利用者　□寄付者　□関係者　□その他（　　　　　　　） |
| ②どのように伝えますか（該当する全てのものに☑をつけてください |
| **☑**会報・機関紙　　□情報紙　　□新聞　　□テレビ　　□ホームページ　**☑**看板  **☑**チラシ・パンフレット　**☑**役員会や総会に報告　　**☑**受配シールを貼る　　**☑**イベントで周知  □事業に参加し理解してもらう　　□共同募金運動への協力を通して理解を求める  □その他（　民間賃貸仮設住宅住民には区社協・地区社協の協力でＤＭを出してもらう。　　　　　）  □予定なし |

【様式１－４】

ポイント⑥

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **平　成　27　年　度　年　間　ス　ケ　ジ　ュ　ー　ル** | **月** | **活動予定回数** | **活動内容（予定）　※箇条書きでご記入ください** |
| 27年  ４月 | ２回 | ・準備会 |
| ５月 | １回  １回 | ・お花見会開催(第1回)  ・準備会 |
| ６月 | １回 | ・準備会 |
| ７月 | 1回 | ・準備会 |
| ８月 | １回  1回 | ・準備会  ・夏祭り(第2回) |
| ９月 | ２回 | ・準備会 |
| 10月 | １回 | ・準備会 |
| 11月 | ２回 | ・準備会 |
| 12月 | １回  １回 | ・準備会  ・クリスマス会(第3回) |
| 27年  １月 | ２回 | ・準備会 |
| ２月 | 2回 | ・準備会 |
| ３月 | １回  ２回 | ・ひなまつり(第4回)  ・準備会 |

（申請する事業の年間スケジュールを記入してください。）

【様式１－５】

ポイント⑦

【様式１－６】

助成申請事業　収支予算書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **科　　　目** | | | **予　算　額** | **説　　　明**（品名・内訳・算出根拠） |
| **収　　入** | **共同募金助成金** | | 250,000 | ※申請事業経費（Ｂ）の90％上限  （Ｂ）×０．９  （千円未満切捨て） |
| **自己資金** | | 28,000 | 内訳  参加費@500×4回×14人 |
| **合　　　計（Ａ）** | | 278,000 |  |
| **支　　　　　出** | 申請事業経費 | 事務消耗品費 | 9,000 | コピー用紙、インク代 |
| 通信費 | 0 |  |
| 広報費 | 58,000 | チラシ印刷代38,000円、  のぼり旗20,000円 |
| 会場費・施設借上費 | 58,000 | 準備会@2,100×18回=37,800  サロン@5,000×4回=20,000 |
| 講師謝礼費 | 10,000 | 楽器演奏謝礼@5,000円×2人 |
| 活動保険料 | 9,000 | ボランティア保険@300×30人 |
| 会議費 | 62,000 | 会議用お茶、サロン用飲食費（お茶、お菓子、  食材等） |
| 交通費・旅費 | 5,000 | 自宅会場間送迎車両ガソリン代 |
| 備品費、資材費、設備費 | 67,000 | 食器洗い洗剤、スポンジ、ふきんなど7,000円  音響外注@20,000円×2回=40,000  レクリエーション用品（ペタンク）20,000 |
| その他（　　　　　） |  | 単価1万円超なので見積書を添付 |
| **合　　　計（Ｂ）** | | 278,000 | **（Ａ）＝（Ｂ）** |

※事務消耗品について、単価１万円以上のものは、備品になりますので、科目「備品費、資材費、設備費」の予算額に入れてください。

**※収入合計と支出合計は同額になります。説明部分は、内訳・算出根拠も必ず詳しくご記入ください。**